

# 8月4日 親子科学実験教室を開催しました

前橋商工会議所会館で、午前10時から始まり、空気とは何かという説明を受けた後、親子で傘袋風船を使った飛行機に挑戦しました。

最初はうまく飛ばなかったけれど、両翼や尾翼、重りを工夫しているうちに、速く真っ直ぐに飛ぶようになりました。

空気は窒素や酸素の粒で出来ているので、重さもありません。空気を入れた小さな風船ではぶつけても痛くないけれど、大きな風船になると、体が飛ばされて痛いのが実感。

午後は、小学生高学年と中学生。午前の部よりちょっと難しい説明を受けました。

そして大量の新聞紙で作った大きな袋の中に、うちわで外の空気を入れ、子どもも大人も全員入っちゃいました。空気の力はすごい！

最後はみんなで思いっきり破いて終わり。子どもたちも、大人も、みんな楽しそうに実験に取り組んだ1日でした。

出来れば定期的に関きたいと……ガンバります!!



空気の重さ  
風船で体感  
前橋で科学教室  
県内の個人学習塾の  
女性経営者でつくるS  
生と保護者計24人が、

JP(糸井恵子代表)  
の親子科学実験教室  
が、前橋市日吉町の前  
橋商工会議所会館で初  
めて開かれた。小中学  
生と保護者計24人が、

身近な物を使った実験  
で楽しく学んだ。  
関東学園大教授の瀧  
上豊さんが講師を務  
め、空気をテーマに性  
質や特徴を解説。空気  
の重さは、大きさが極  
端に異なる2種類の風  
船を使って体感した。  
大きな風船が背中に当  
たると、衝撃で子ども  
の体は、ふらっと前に  
押し出された。  
伊勢崎市安堀町の松  
永佳望さん(10)は  
「目の前で空気の存在  
を見せてくれたり、実  
験をやってみたので、  
よく分かった」と夢中  
になっていた。

大きな風船を背中に当て、空気の重さを体感する実験

8 / 9 上毛新聞に掲載されました

関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

S J P 事務局